

荒川地区流域治水協議会 開催趣旨

令和元年10月12日から13日にかけて宮城県を襲った台風19号により、荒川地区周辺では、計画雨量205mm/日を超える総雨量317mm（県大河原雨量観測所）を記録し、荒川地区において床上・床下浸水210戸に及ぶ浸水被害が発生した。

このため、今回の浸水被害を検証し、明らかになった課題を共有するとともに各主体が協働し、連携を図りながら、荒川地区の流域治水対策に取り組み、荒川流域の防災・減災を推進することを目的とし、本協議会を開催する。